

教育学部 情報学 I 概要

(1回生配当、前期、木曜1限目、2単位)

担当

中村、八木、TA2名(林、戸松、教育学研究科より)

教室

学術情報メディアセンター2階203、情報処理演習室(1)
パソコン60台

講義内容

毎回、原則として最初に20～30分程度の講義を行い、続けて演習を行う。
演習では、一人一台のパソコンを利用する。講義および実習（前期、後期）を通じて、

- (1)コンピュータの基本操作
- (2)電子メール等によるネットワークコミュニケーション
- (3)情報の収集、加工、提示、発信の方法
- (4)情報社会の基礎知識の習得

を目標とする。

課題としては、自分なりのテーマを設定し、そのテーマに関連する情報の収集、整理、加工を行い、後期（情報学II）の最後にプレゼンテーションを行うことを予定している。これらの演習を通して、情報ツールとしてのコンピュータの総合的な利用方法を学ぶ。

1. コンピュータの基本概念と操作
コンピュータの機器構成とソフトウェアの概要
キーボード・マウスの扱い方や文書の保存方法
2. インターネット入門
電子メール、WWW (World Wide Web) などの情報ツールの基本操作
3. 情報収集法
インターネットを用いた様々な情報収集法
4. 情報発信のしくみ
WWW を用いた情報発信の仕組みと利用
5. パソコンを用いた文書処理
Wordによる文書の作成

(以下は後期に予定されている内容)

6. データ処理
エクセルを用いたデータの加工(表の作成、集計、グラフ)
7. プレゼンテーション
PowerPoint を用いた効果的なプレゼンテーション法

(このページは、学術情報メディアセンターのホームページより、「授業資料」->「な」->「中村素典」とたどることでも参照できます。)

準備

- 学術情報メディアセンターの講習を受けて、利用コードの交付を受けておく。
- [学術情報メディアセンター教育用システムのWeb](#)を参照して、各自で使い方の予習しておく。
- フロッピーディスク等の準備は特に必要ないが、自宅にパソコンがあって課題を自宅でもやりたい場合等は、各自で必要に応じて購入し利用すること。どのようなメディアが利用できるかは、上記Webを参照のこと。

教科書

教科書は特にない。毎回用意する資料やオンラインの資料等を用いて講義を進める。パソコンの使い方に関する参考書は豊富に出版されているので、各自で自分にあったものを選ぶとよいだろう。